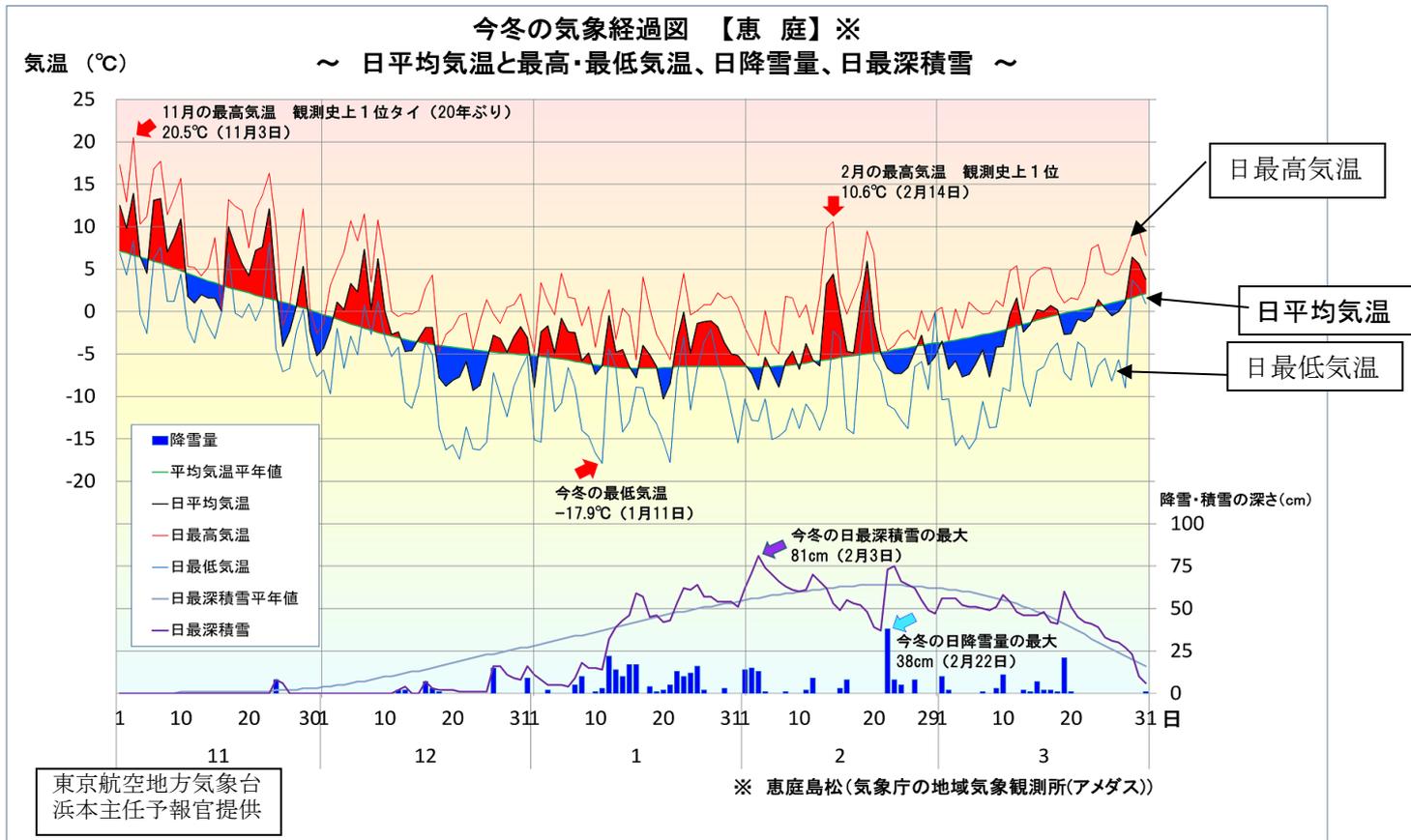


季節のまとめ

【今年の冬を振り返って】（令和5年11月～令和6年3月）

防災士 清水 為一



【概況】

今年の冬は、グラフで見られるように、気温が高く降雪量は平年に比べ7割程度と比較的穏やかな冬でした。

月別経過

11月

上旬は低気圧や前線の影響により曇りや雨の日が多かった。中旬は、初め冬型の気圧配置で寒気の影響を受けたあと中頃、低下圧が急速に発達しながら北海道付近を通過したため大雨となった。下旬は低下圧と高気圧が交互に通過し寒気が入った日があった。

*日最高气温 20.5度 (3日) 11月として高い方の第1位

*10分間降水量 2.5mm (30日) " 多い方の第9位

*日降水量 34.0mm " 多い方の第9位

*月平均気温 5.3度 高い方の第4位

12月

上旬は高気圧に覆われ晴れた日が多く気温も高かったが、中旬から下旬は低気圧や前線の影響を受けやすく曇りや雪の日が多くなり、気温も寒気の流入で低く経過した。降雪量の合計は3.9センチと平年の2割と少なかった。

1月」

上旬は、低気圧や気圧の谷の通過が多く、冬型の気圧配置が長続きしなかった。中旬は天気は周期的に変わったが、下旬には動きの遅い低気圧の影響で曇りや雪の日が多く、1か月のうち降水を観測した日が19日と多く、また、降水量の合計が103ミリと平年の2倍に達した。

*月降水量 103mm 1月として多い方の第1位

2月」

冬型の気圧配置が長続きせず、高気圧に覆われやすかったため、晴れた日が多かった。また、中旬には上空1500m付近に5月並みの暖気が入り、記録的な高温となったが、下旬には、北または北西の風で寒気が入りやすく気温が低く、寒暖の差が大きかった。

*日最高気温 10.6度(14日) 2月として高い方の第1位

*日最低気温 2.5度(19日) 2月として高い方の第1位

*月平均気温 -4.3度 " 高い方の第9位

*月間日照時間 125.3時間 " 多い方の第1位

3月」

上旬・下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、中旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。しかし、期間を通じて北からの寒気の影響で気温はやや低かった。

*日最低気温 3.7度(29日) 3月として高い方の第4位

*月降水量 28.5mm " 多い方の第9位

*月間日照時間 187.7時間 " 第2位

まとめ

今冬、12月中旬と2月下旬には気温が平年より1から2度低く推移しましたが、2月中旬には北海道道内最高173地点の約9割りにあたる160地点で2月の観測史上最高を更新しました。

恵庭でも日最高・最低気温が1位の記録となりました。このように、寒暖の差が大きいことは、今まであまり無かったことですし、降雪量も平年の7割程度と少なくなりました。

このような経過を見ると、今年の冬は「暖冬」と言えますがその原因は次のように考えられています。

「赤道付近の海面水温が高くなるエルニーニョ現象により、日本上空を吹く偏西風が北に蛇行したため」とされています。

偏西風の北への蛇行で日本付近には南からの暖気が入りやすくなり、気温が上昇しました。一方偏西風の北側に当たる高緯度帯には寒気がとどまりました。北海道は偏西風を挟んで暖気と寒気の狭間にあり、蛇行の具合によって気象状況が大きく変わったようです。

偏西風は、赤道付近の暖気と北極の寒気の差が大きいと強く吹くため蛇行しにくくなります。しかし、最近の地球温暖化により温度差が小さくなるにつれ蛇行しやすくなっています。この状況は、なかなか解消しずらく、今夏は気温が高く経過するという予想があり、今後の気温などの変動に留意する必要があります。